

事務事業名		斐伊川河川敷公園管理事業		所属部	建設部	所属課	都市建築課					
総合計画体系	政策名	〈Ⅱ環境に配慮した安全・快適な生活環境づくり〈定住環境〉〉		所属G	都市計画G	課長名	嘉本俊一					
	施策名	〈04〉計画的な土地利用と市街地整備		担当者名	保科浩二	電話番号	0854-40-1064					
	目的	対象	市内全域	意図	地域特性を活かした有効かつ効果的な土地利用を進める。							
	基本事業名	〈010〉都市機能地域の整備		予算科目	会計	款	大事業	大事業名				
目的	対象	都市機能地域	意図	都市機能地域を整備する。			河川施設管理事業					
				0	1	4	0	0	2	中事業	中事業名	斐伊川河川敷公園管理事業
				1	5	1	0	0	4	中事業	中事業名	斐伊川河川敷公園管理事業

1 現状把握【DO】

(1) 事業概要

① 事業期間
<input checked="" type="checkbox"/> 単年度のみ <input type="checkbox"/> 単年度繰返 (年度 ~)
<input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (年度 ~ 年度)
② 事業内容 (期間限定複数年度事業は全体像を記述)
木次町下熊谷地内、斐伊川に架かる潜水橋に付帯している塵避けが老朽化しており、洪水時における潜水橋にかかる負荷が大きくなっているため、平成25年度の単年度工事として早急に改修を図る。

(2) 事務事業の手段・指標

手段	① 主な活動	25年度実績(25年度に行った主な活動)	26年度計画(26年度に計画する主な活動)			
		下熊谷潜水橋に付帯する塵避けの改修	なし			
	② 活動指標	単位	23年度(実績)	24年度(実績)	25年度(実績)	26年度(計画)
	ア 整備対象施設	個所			1	
	イ					
	ウ					
	エ					

(3) 事務事業の目的・指標

目的	① 対象(誰、何を対象にしているのか)	③ 対象指標	単位	23年度(実績)	24年度(実績)	25年度(実績)	26年度(計画)
	潜水橋の塵避け	ア 事業進捗率	%			100	
		イ					
		ウ					
② 意図(対象がどのような状態になるのか)	④ 成果指標	単位	23年度(実績)	24年度(実績)	25年度(実績)	26年度(計画)	
都市施設である潜水橋の安全性が向上する	ア 改修率	%			100.0		
	イ						
	ウ						

(4) 事務事業のコスト

① 事業費の内訳 (25年度決算)		② コストの推移		単位	23年度(決算)	24年度(決算)	25年度(決算)	26年度(計画)
委託費: 1,659,000円 工事費: 48,589,800円 合計: 50,248,800円		事業費	財源内訳	国庫支出金	千円		50,248	
	県支出金		千円					
	地方債		千円					
	その他		千円					
		一般財源	千円				1	
		事業費計(A)	千円				50,249	
人件費		正規職員従事人数	人				2	
		延べ業務時間	時間				25	
		人件費計(B)	千円				97	
		トータルコスト(A)+(B)	千円				50,346	

(5) 事務事業の環境変化、住民意見等

① 環境変化 (この事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)はどう変化しているか? 開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか?)	② 改革改善の経緯 (この事務事業に関してこれまでどのような改革改善をしているか?)	③ 関係者からの意見・要望 (この事務事業に対して市民、議会、事業対象者、利害関係者等からどんな意見や要望が寄せられているか?)
河川内の施設であり、年々腐食にしているため、洪水時の潜水橋にかかる負荷が大きくなっている。	木製の塵避けであり、耐久性に乏しい感否めなため、河川管理者に対し、耐久性の高い構造への変更を要望してきた。	桜並木に近い施設であり、春は観光客の往来の多い潜水橋である。塵避けは、その付帯施設であり、腐食が進んで景観も悪くなっており、改修を望む声は多い。

事務事業名	斐伊川河川敷公園管理事業	所属部	建設部	所属課	都市建築課
-------	--------------	-----	-----	-----	-------

2 事後評価【SEE】

A 目的 妥当性	① 政策体系との整合性 この事務事業の目的は市の政策体系に結びつくか？ 意図することが結びついているか？		見直し余地があるとする理由	
	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある	<input checked="" type="checkbox"/> 結びついている * 余地がある場合⇒		
	② 公共関与の妥当性 なぜこの事業を市が行わなければならないのか？税金を投入して達成する目的か？			
B 有効性	③ 対象・意図の妥当性 対象を限定・追加する必要はないか？意図を限定・拡充する必要はないか？			
	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である * 余地がある場合⇒		
	④ 成果の向上余地 成果を向上させる余地はあるか？ 成果を向上させるため現在より良いやり方ははないか？ 何が原因で成果向上が期待できないのか？			
C 効率性	<input type="checkbox"/> 向上余地がある	理由	一級河川の占用物であり、国土交通省との協議により工法等を決定しているため。	
	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がない			
	⑤ 廃止・休止の成果への影響 この事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は？		理由	洪水時の潜水橋にかかる負荷が大きくなり、橋梁の流出が懸念される。
<input type="checkbox"/> 影響無	<input checked="" type="checkbox"/> 影響有			
D 公平性	⑥ 類似事業との統廃合・連携の可能性 目的達成には、この事務事業以外の手段(類似事業)はないか？ ある場合、その類似事業との統廃合・連携ができるか？		理由	
	<input type="checkbox"/> 他に手段がある * ある場合⇒	(具体的な手段や類似事業名)		
	<input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がない	該当する他の事業がない。		
A 目的 妥当性	⑦ 事業費の削減余地 成果を下げずに事業費を削減できないか？(仕様や工法の適正化、住民の協力など)		理由	
	<input type="checkbox"/> 削減余地がある	理由		一級河川の占用物であり、国土交通省との協議により、最良の工法を選定しているため。
	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない			
B 有効性	⑧ 人件費(延べ業務時間)の削減余地 成果を下げずにやり方の工夫で延べ業務時間を削減できないか？ 正職員以外や外部委託ができないか？		理由	
	<input type="checkbox"/> 削減余地がある	理由		必要最低限の人数で対応している。
	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない			
C 効率性	⑨ 受益機会・費用負担の適正化余地 事業内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか？ 受益者負担が公平・公正か？		理由	
	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある	理由		市の施設である。
	<input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である			
評価 の 総 括	① 1次評価者としての評価結果		② 1次評価結果の総括(根拠と理由)	
	A 目的妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり		潜水橋の安全性が格段に向上した。また、以前より塵避けの構造を強化したため耐久性もアップした。
B 有効性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり			
C 効率性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり			
D 公平性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり			

3 今後の方向性【PLAN】

① 1次評価者としての事務事業の方向性(改革改善案)・・・複数選択可	② 改革・改善による期待成果																		
<input checked="" type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input type="checkbox"/> 事業統廃合・連携 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(有効性改善) <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(効率性改善) <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(公平性改善) <input type="checkbox"/> 現状維持(従来通りで特に改革改善をしない)	<table border="1"> <tr> <td></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td></td> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td>×</td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> </table>		コスト				削減	維持	増加	成果	向上			維持		×	低下	×	×
		コスト																	
	削減	維持	増加																
成果	向上																		
	維持		×																
	低下	×	×																
平成25年度完結。	<p>廃止・休止の場合は記入不要。 コストが増加(新たに費やし)で成果が向上しない、もしくはコスト維持で成果低下では改革・改善とはならない。</p>																		